

2015年10月7日

10月から12月は赤い羽根共同募金運動期間 今どきの人は困っている他人などに手を差し伸べるのか ～『ライフデザイン白書 2015年』の調査より～

第一生命保険株式会社（社長 渡邊 光一郎）のシンクタンク、株式会社第一生命経済研究所（社長 矢島 良司）では、全国の18～69歳の男女7,256人に対して「今後の生活に関するアンケート調査」を実施し、その分析結果を元に『ライフデザイン白書 2015年』を発刊いたしました。

10月から12月が「赤い羽根共同募金運動期間」であることにちなみ、調査結果の中から困っている他人などへの対応など、助け合いに関するデータをご紹介します。

本リリースは、当研究所ホームページにも掲載しています。

URL http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/ldi/total.cgi?key1=n_year

《調査結果のポイント》

困っている他人などへの対応 (P. 2)

- 高齢者や妊娠している人に席をゆずる人は9割弱
- 未成年者の飲酒・喫煙の連絡・通報をする人は26.9%

電車で座っているときに、高齢者や妊娠している人が前に立ったら、席をゆずる (P. 3)

- 「独身」の男性が最も席を譲らず、「末子が就学終了」の女性が最も席をゆずる

行き先や自宅がわからない様子的高齢者を見たら、声をかける (P. 4)

- 「独身」より「夫婦のみ」で、また「末子が未就学」から「末子が就学終了」にかけてと、ライフステージが上がるごとに声をかける人が多くなる

道や駅などで困っている人や体調が悪そうな人を見たら、声をかける (P. 5)

- 「末子が就学終了」の女性が最も声をかける
- 「あてはまらない」とする割合は「独身」の男性で最も多い

知らない子どもが迷子になっているのを見たら、声をかける (P. 6)

- 「末子が未就学」「末子が就学終了」の女性で声をかける人が多い
- 子どものいない男性は迷子の子どもに声をかけにくい可能性あり

近所の子どもが虐待されているのを知ったら、児童相談所や警察に連絡をする (P. 7)

- 虐待の通報に最も積極的なのは「末子が就学終了」の女性
- 全体的に「どちらかといえばあてはまる」が多くやや消極的な印象

近所の未成年者が飲酒・喫煙をしているのを見たら、親や警察に知らせる (P. 8)

- 全体的に親や警察に知らせない人が多い
- 子どもがいる人では、いない人と比べて知らせるとする割合が高い

<お問い合わせ先>

(株)第一生命経済研究所 ライフデザイン研究本部
研究開発室 広報担当（津田・新井）
TEL. 03-5221-4771
FAX. 03-3212-4470

【URL】 <http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/ldi>



《調査の概要》

第一生命経済研究所は、生活者の意識や行動の現状と変化をとらえるため、1995年より「今後の生活に関するアンケート」を実施し、『ライフデザイン白書』を出版してまいりました。第8回目となる今回は、「家族」「地域」「消費」「就労」「健康・介護」「人生設計」という、ライフデザインにかかわる基本的な分野について調査しました。

この調査結果の中から、「電車で座っているときに、高齢者や妊娠している人が前に立ったら、席をゆずる」「行き先や自宅がわからない様子的高齢者を見たら、声をかける」など、困っている他人などへの対応についての結果についてご紹介します。地域のイベントも多い10月から年末にかけてのこの時期、人々の助け合いの大切さを見直し、地域やコミュニティの力を日常生活の安心・安全に活かしていきたいものです。

※『ライフデザイン白書 2015年』については、最終頁にご案内があります。

また、調査結果の一部は以下でも紹介しております。

ニュースリリース『『ライフデザイン白書 2015年』の概要』2015年7月

<http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/pdf/ldi/2015/news1507.pdf>

《「今後の生活に関するアンケート」の概要》

調査対象	全国の満18～69歳の男女個人
調査実施期間	2015年1月29日～30日
抽出方法	調査機関の登録モニター約118万人から国勢調査に準拠して地域（10エリア）×性・年代×未既婚別にサンプルを割付
調査方法	インターネット調査
有効回答数	7,256サンプル
調査機関	株式会社マクロミル

《回答者の主な属性》

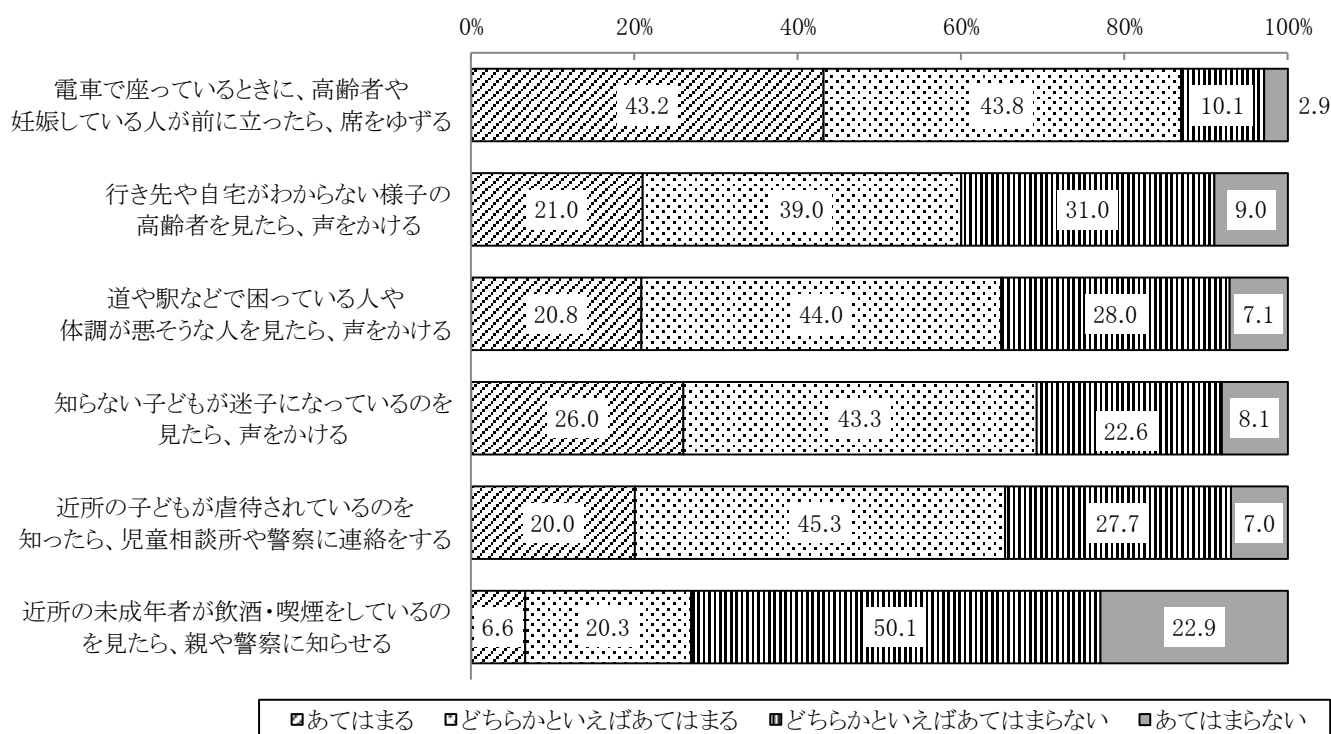
(単位:%)

性別	男性	49.9
	女性	50.1
年代	29歳以下	19.1
	30代	21.2
	40代	19.6
	50代	19.0
	60代	21.2

困っている他人などへの対応

高齢者や妊娠している人に席をゆずる人は9割弱
 未成年者の飲酒・喫煙の連絡・通報をする人は 26.9%

図表1 困っている他人などへの対応



はじめに、困っている他人などへの対応に関する5つの設問について全体値をみます。

「電車で座っているときに、高齢者や妊娠している人が前に立ったら、席をゆずる」についてあてはまる（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計、以下同じ）とした割合は87.0%と9割近くに及びました。

「行き先や自宅がわからない様子の高齢者を見たら、声をかける」「道や駅などで困っている人や体調が悪そうな人を見たら、声をかける」「知らない子どもが迷子になっているのを見たら、声をかける」「近所の子どもが虐待されているのを知ったら、児童相談所や警察に連絡をする」の4項目について、あてはまるとした割合はそれぞれ60%台となっていました。

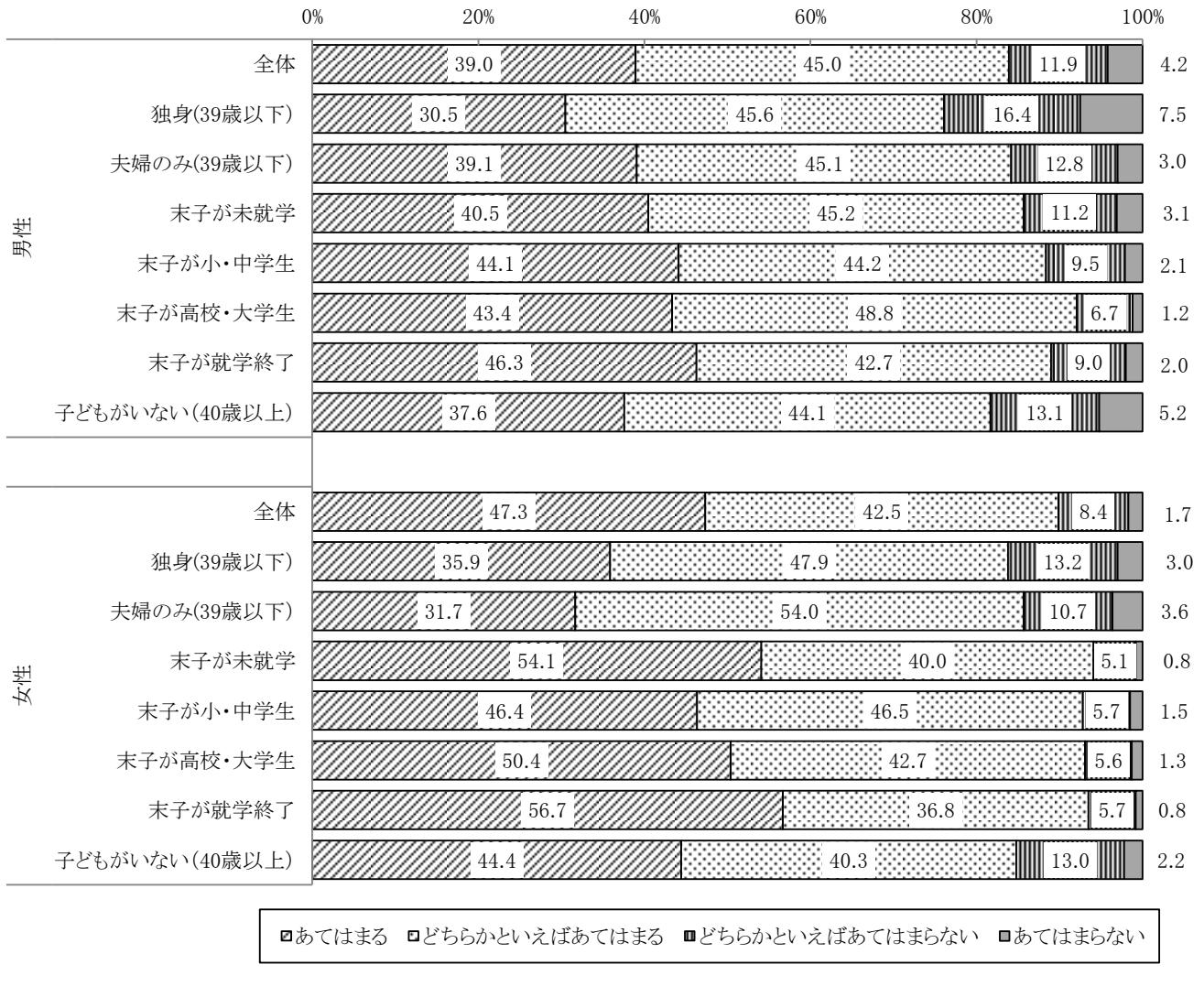
「近所の未成年者が飲酒・喫煙をしているのを見たら、親や警察に知らせる」については、あてはまるとした割合が26.9%にとどまりました。

電車で座っているときに、高齢者や妊娠している人が前に立ったら、席をゆずる

「独身」の男性が最も席を譲らず、 「末子が就学終了」の女性が最も席をゆずる

図表2 電車で座っているときに、高齢者や妊娠している人が前に立ったら、席をゆずる

(性・ライフステージ別)



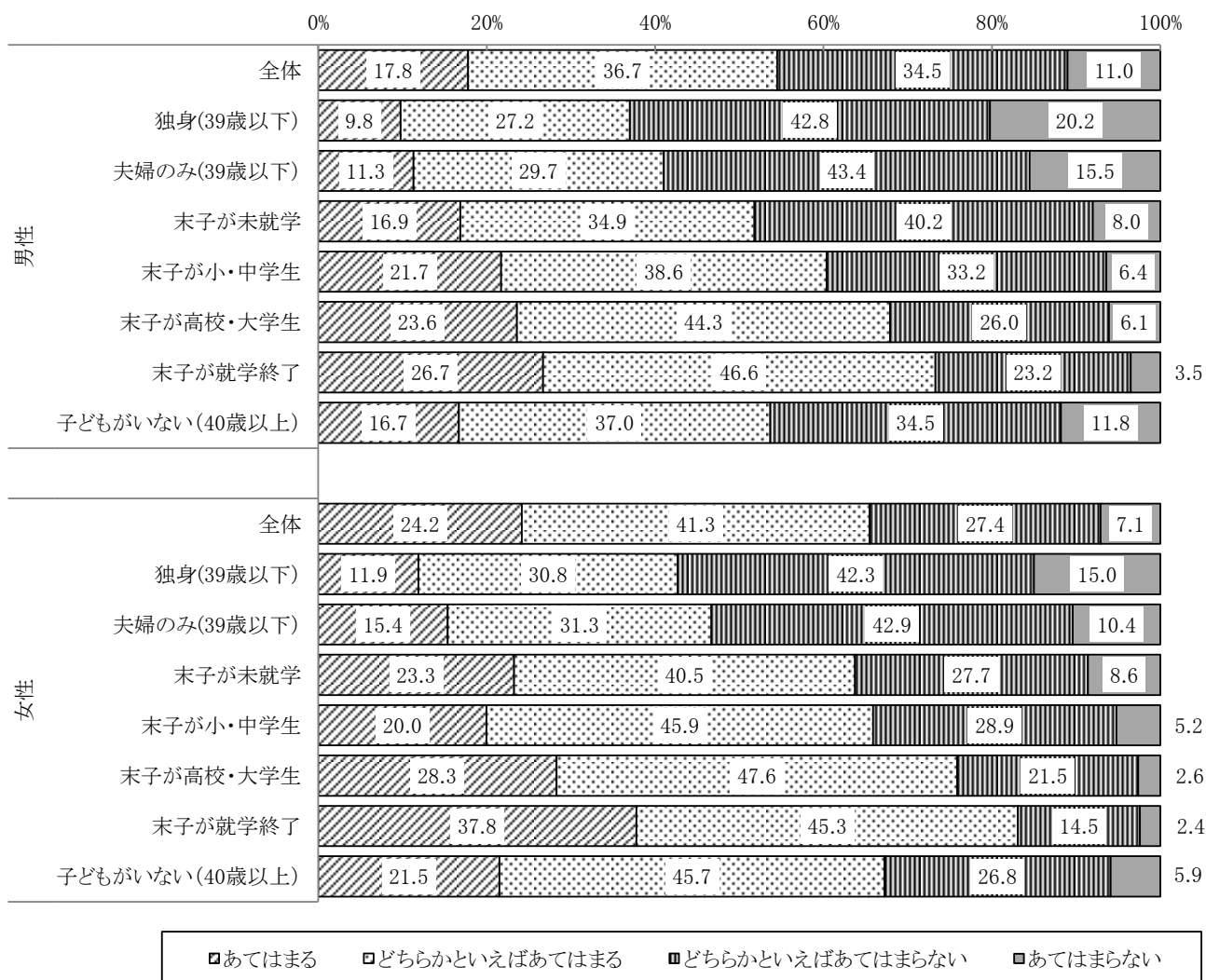
次に、それぞれの項目について、性・ライフステージ別に比較をします。

「電車で座っているときに、高齢者や妊娠している人が前に立ったら、席をゆずる」についてみると、あてはまるとした割合が最も低かったのは「独身(39歳以下)」の男性(76.1%)となっており、最も高かった「末子が未就学」の女性(94.1%)と比べると18.0ポイントの差がみられました。男女ともに子どものいない人では相対的に割合が低くなっています。一方、子どものいる女性は自らの妊娠体験から、妊婦に対して配慮をしようとするのかもしれない。

行き先や自宅がわからない様子の高齢者を見たら、声をかける

「独身」より「夫婦のみ」で、また「末子が未就学」から「末子が就学終了」にかけてと、ライフステージが上がるごとに声をかける人が多くなる

図表3 行き先や自宅がわからない様子の高齢者を見たら、声をかける(性・ライフステージ別)

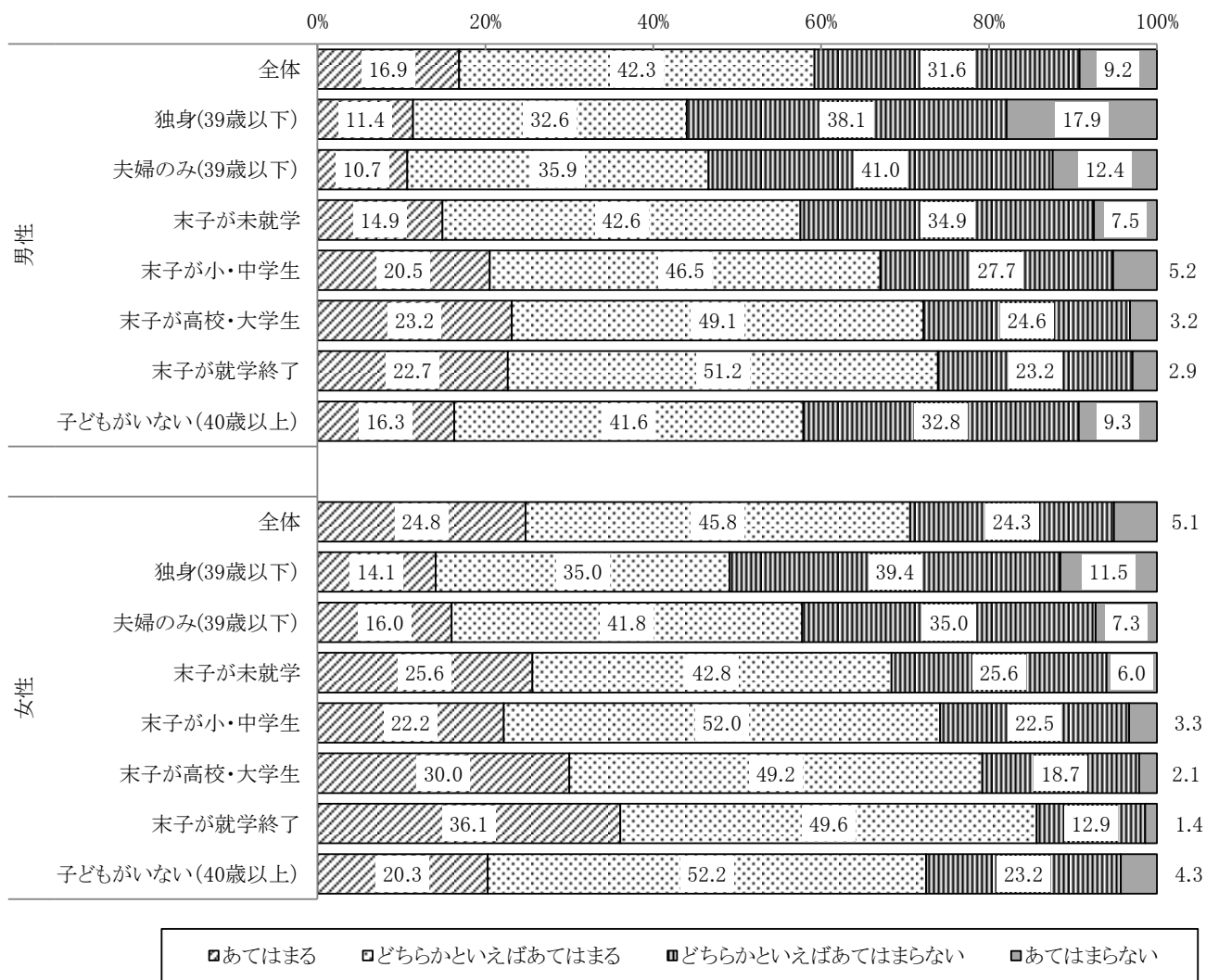


「行き先や自宅がわからない様子の高齢者を見たら、声をかける」についてみると、あてはまるとする人は、男女ともに「独身(39歳以下)」「夫婦のみ(39歳以下)」に続いて、「末子が未就学」「末子が小・中学生」「末子が高校・大学生」「末子が就学終了」とライフステージが上がるにつれて上昇しており、最も割合が高かった「末子が就学終了」の女性では83.1%を占めました。子どもがいる人は子どもを介して地域や社会とつながりを作る傾向がありますが、こうした経験が他者との距離感を縮めたり、知らない人への声かけに対する抵抗感を低くしている可能性があります。

道や駅などで困っている人や体調が悪そうな人を見たら、声をかける

「末子が就学終了」の女性が最も声をかける
 「あてはまらない」とする割合は「独身」の男性で最も多い

図表4 道や駅などで困っている人や体調が悪そうな人を見たら、声をかける(性・ライフステージ別)

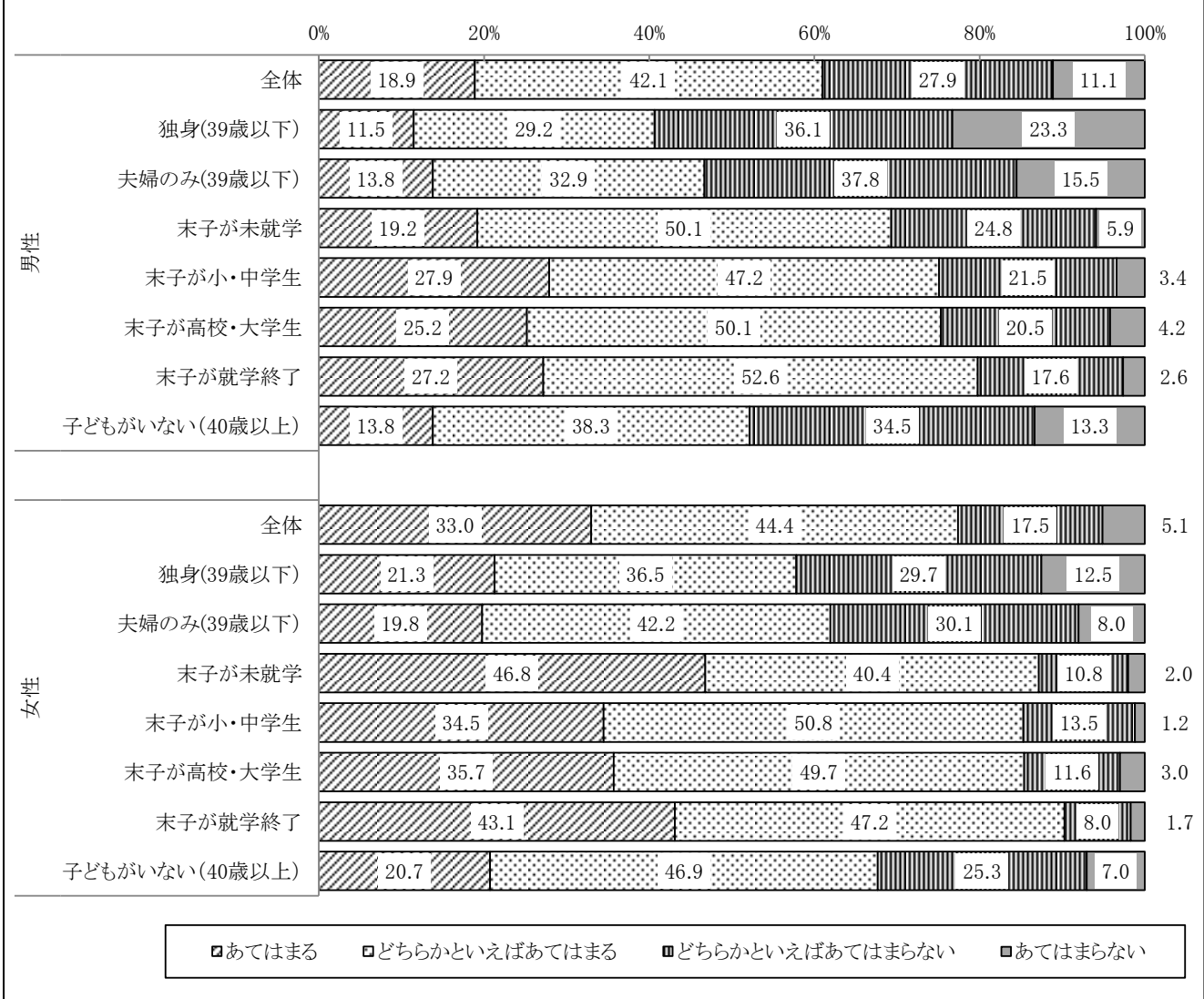


「道や駅などで困っている人や体調が悪そうな人を見たら、声をかける」についてみると、「行き先や自宅がわからない様子の高齢者を見たら、声をかける」と同様、あてはまるとする人は、「独身(39歳以下)」「夫婦のみ(39歳以下)」に続いて、「末子が未就学」「末子が小・中学生」「末子が高校・大学生」「末子が就学終了」とライフステージが上がるにつれて上昇していました。「末子が就学終了」の女性では、あてはまるとする人が85.8%を占めました。

知らない子どもが迷子になっているのを見たら、 声をかける

「末子が未就学」「末子が就学終了」の女性で声をかける人が多い
子どものいない男性は迷子の子どもに声をかけにくい可能性あり

図表5 知らない子どもが迷子になっているのを見たら、声をかける(性・ライフステージ別)

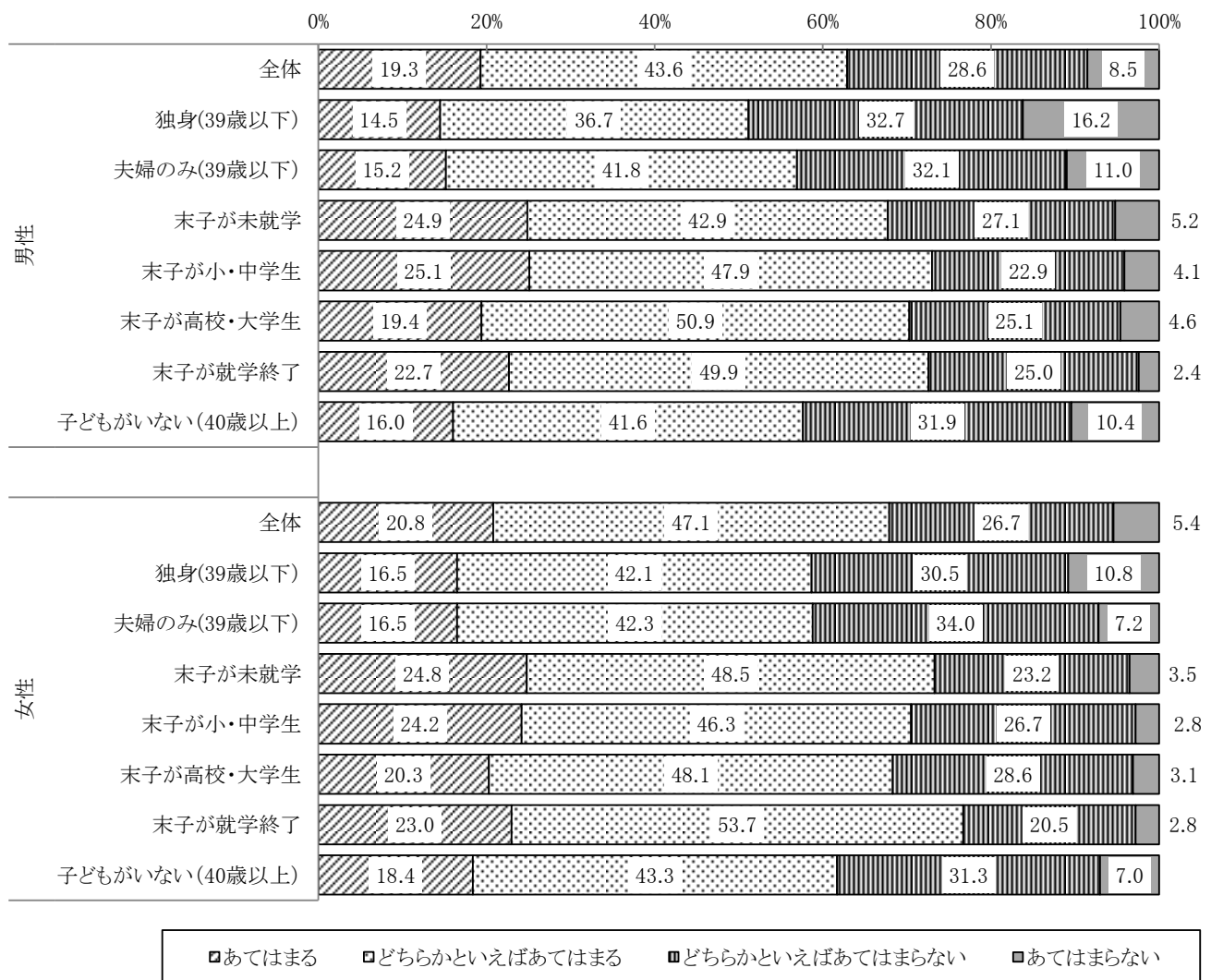


「知らない子どもが迷子になっているのを見たら、声をかける」については、特に「末子が未就学」と「末子が就学終了」の女性で「あてはまる」とする人が多いことがわかります。全体的に子どもがいる人で高く、特に「末子が未就学」の女性で多いのは、小さい子どもを持つ親として迷子をほっておけない心理があるようです。男性であてはまるとする割合が低くなっているのは、近年の傾向として、子どもが見知らぬ大人、特に男性に話しかけられることに対する世間の警戒心が強いことが影響しているものと推察されます。このような社会的な風潮が、男性が子どもへの声かけをためらう一因となっている可能性があります。

近所の子どもが虐待されているのを知ったら、 児童相談所や警察に連絡をする

虐待の通報に最も積極的なのは「末子が就学終了」の女性
全体的に「どちらかといえばあてはまる」が多くやや消極的な印象

図表6 近所の子どもが虐待されているのを知ったら、児童相談所や警察に連絡をする
(性・ライフステージ別)

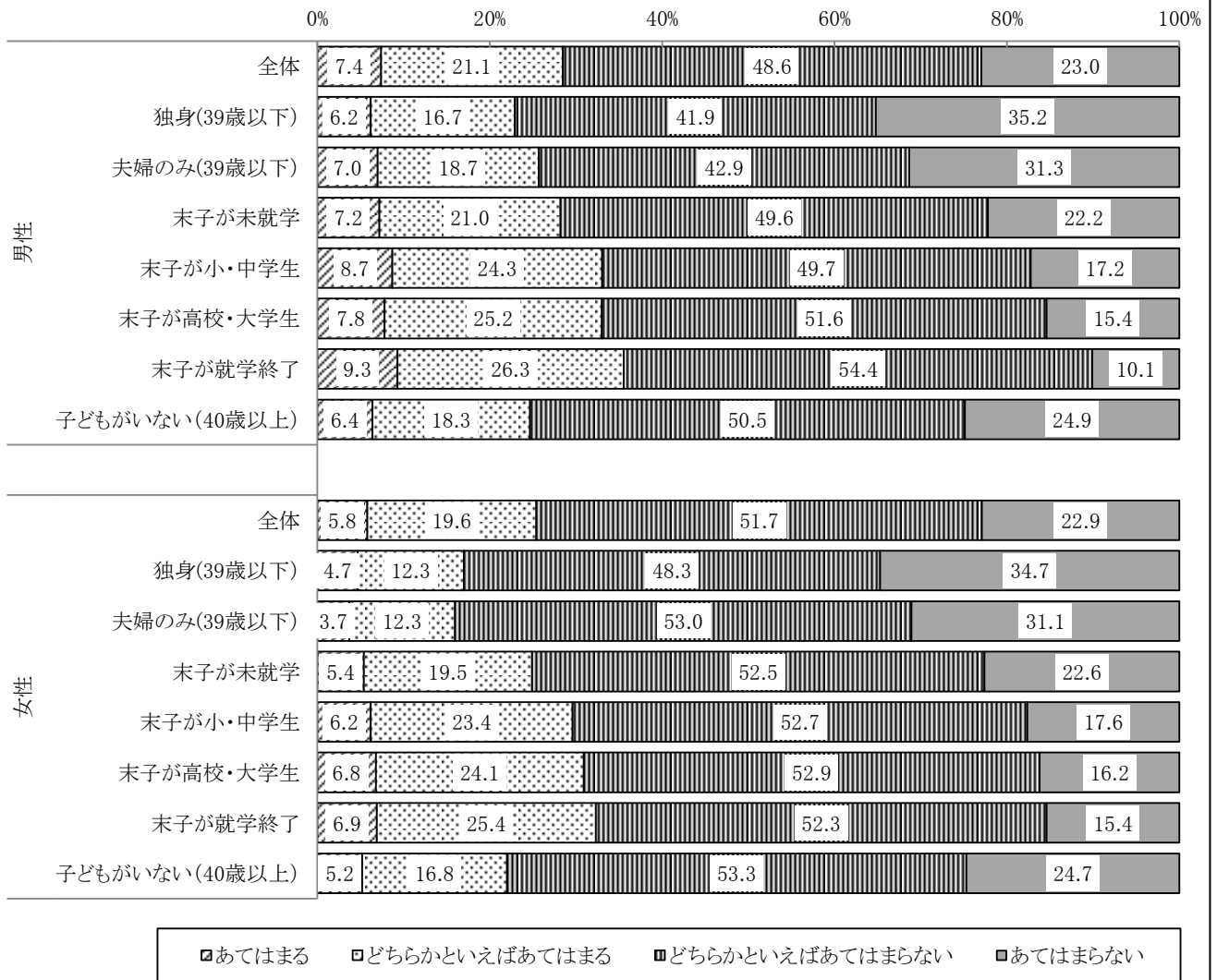


「近所の子どもが虐待されているのを知ったら、児童相談所や警察に連絡をする」についてみると、あてはまるとする割合が最も高かったのは「末子が就学終了」の女性でした。ただし、全体的にみて「どちらかといえばあてはまる」との回答が多く、子どものいる女性でも「あてはまる」とする人はそれほど多くありませんでした。

近所の未成年が飲酒・喫煙をしているのを見たら、 親や警察に知らせる

全体的に親や警察に知らせない人が多い
子どもがいる人では、いない人と比べて知らせるとする割合が高い

図表7 近所の未成年者が飲酒・喫煙をしているのを見たら、親や警察に知らせる
(性・ライフステージ別)



「近所の未成年者が飲酒・喫煙をしているのを見たら、親や警察に知らせる」については、男女ともにあてはまると回答した人は少なく、あてはまらないとする人のほうが多いとの結果を得ました。それでも、「末子が未就学」から「末子が就学終了」の人についてはあてはまるとする人が25~35%程度を占め、子どもがいる人のほうがいない人よりも親や警察に知らせるとする人が多いことがわかりました。

《研究員のコメント》

「電車で座っているときに、高齢者や妊娠している人が前に立ったら、席をゆずる」ことについては、9割近くの人が実際に行動すると回答しました。少子高齢化が進む中、多くの人が高齢者や妊婦に配慮していることがうかがえます。

一方で、「行き先や自宅がわからない様子的高齢者を見たら、声をかける」「道や駅などで困っている人や体調が悪そうな人を見たら、声をかける」「知らない子どもが迷子になっているのを見たら、声をかける」行動は、電車で席をゆずるよりもやや抵抗感があるといえます。特に近年、高齢者や子どもをターゲットとした犯罪も目立ち、安易に声をかけてあらぬ疑いをかけられたくないという意識も働くことでしょう。特に男性が見知らぬ子どもに声をかけることについては地域の警戒心も高く、筆者が属する自治体が配信する「安心安全メール」でも、男性の子どもへの声かけが「不審者情報」としてしばしば配信されます。通報される可能性もあるため、気軽に子どもに声をかけたり道を聞いたりできない世の中になってきたのです。地域にいる人たちがちょっとした人助けや犯罪の防止ができないというのは、非常に残念なことです。

また、「近所の子どもが虐待されているのを知ったら、児童相談所や警察に連絡をする」「近所の未成年者が飲酒・喫煙をしているのを見たら、親や警察に知らせる」については、場合によって匿名でも可能ですから、周囲の目を気にする必要はありません。しかし、これらは他人の家庭や警察などにもかかわることであり、場合によっては「犯罪」に関することにもなりますから、これも気軽に行えるというものでもないでしょう。

現在、通勤する妊婦も多くなりましたし、塾通いなどで夜間外出をする子どもも少なくありません。高齢化に伴って行き先がわからなくなる高齢者も増え、子どもの虐待通報件数も増加しています。

近年は防犯カメラの設置も進み、問題解決の鍵となることも多くなりました。しかし、防犯カメラは「事が起きたとき」の状況確認には役立ちますが、困っている人を助けたり、「起きている事」を止めることはできません。

人々の「助け合い」は技術や制度だけでは補いきれない大切な力です。地域やコミュニティや助け合いの大切さを見直し、安心・安全で暮らしやすい社会を自ら作り出していきたいものです。

(研究開発室 上席主任研究員 宮木由貴子)

《書籍のご案内》

【編：第一生命経済研究所】 『ライフデザイン白書 2015』

2015年7月に『ライフデザイン白書 2015』（編：第一生命経済研究所、発行：ぎょうせい）を発刊しました。本書は、第一生命経済研究所が独自に実施している全国規模のアンケート調査をもとに、生活者の視点で生涯設計を考え、人々の生活実態や生活意識を時系列で分析したものです。今回の白書も、図表を多く取り入れ、よりわかりやすく見やすい内容にしています。

高校や大学における社会科・家庭科・ライフデザイン学科の学習教材であると共に、記事などの裏づけ資料としてもご活用できる一書となっています。皆さまの生活に役立つ内容が盛り込まれていますので、ご一読いただければ幸いです。

